

平成22年度武雄市男女共同参画啓発イベント

「男女が良きパートナーとして

ともに生きるために」

平成22年12月4日(土)武雄市文化館小ホールにおいて、「男女が良きパートナーとしてともに生きるために」をテーマに、平成22年度武雄市男女共同参画啓発イベントを開催しました。

基調講演では、立教大学大学院教授萩原なつ子さんから全国の地域づくりの実例や替え歌を交え、ご講演いただきました。講演会には市内外から250人が参加、わかりやすくユーモアを交えた話で、和やかな雰囲気と笑いがあふれる一日となりました。

会場ホワイエでは、9団体による新鮮野菜や手作り品の販売、ふるさと隊によるつんぎーだご汁のふるまいなどが行われ、多くの人で賑わいました。



～基調講演の概要について紹介します～

男女共同参画社会とは、選択肢のある社会をつくること。男女共同参画の視点をもった地域づくりとは、地域社会の新たな価値を多様に創出することです。

●協働の地域づくりの社会的背景

社会的課題は多様化しています。公共サービスに対するニーズも多様化しています。市民は、自分たちでできることは自分たちでやる必要とされています。

●NPPのすすめ

何かを不思議に思ったり、美しいと思ったり、これじゃ困ると思うなど関心を持つことで見えてくるものがあります。それが活動の始まりとなります。NPPがたくさんいると地域が元気になります。

※NPP(NonProfit-Person)とは、営利を目的とせず社会貢献を目的として活動をする個人のこと

●デザイン・ひとつカエル

地域社会での生き方を変えましょう。武雄市をどうしていきたいのかイメージし、セルフイメージ(心の状態)を高めることが重要です。

●共同・協働の地域づくり

ネットワーキング(結ぶこと)が大切です。ゆるやかに結びつき(時には開いて)つなげましょう。

「ひと
男女が つながる
心が通う ぶる ちどいへん」

～基調講演～

立教大学大学院 教授 萩原なつ子さん



「劇団47分」による寸劇

ステージでは、武雄市男女共同参画啓発イベント実行委員会を中心に結成された「劇団47分」が、寸劇「ゆづ子の婚活」を上演しました。

「劇団47分」とは...

佐賀県の男性の家事参画目標時間「47分(現在33分で全国最下位)」から名付けた劇団名です。



当日の講演に使われた「男女共同参画替え歌歌詞集」をご希望の方は、男女参画課までお尋ねください。



問 政策部 男女参画課
(23)9141